

## 地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日：令和5年（2023年）11月21日

作成者：（課名）市民協働推進課

（氏名） 杣 晴薫

## 1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 I 安全で快適なまちづくり
	【具体的な取り組み】 3 防災防犯対策の充実 （11）監視体制、緊急対応体制の確立を図る ①住民、行政、企業の連携により、監視体制、緊急対応体制を確立する
取組内容の関係課	環境部 環境室 環境政策課

## 2 対話の状況

<p>(1) 実施概要</p> <p>ア 日時： 令和5年（2023年）11月1日 11：15～11：50</p> <p>イ 場所： 宝塚市役所2-3会議室</p> <p>ウ 出席者： 以下のとおり</p> <p style="padding-left: 2em;">＜まちづくり協議会＞ 宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 ●</p> <p style="padding-left: 2em;">＜関係課＞ 玉置係長（環境政策課）、坂口職員（環境政策課）</p> <p style="padding-left: 2em;">＜協働の取組推進担当次長＞ 戸井室長</p>
<p>(2) 確認できたこと</p> <p>ア 環境問題への対応の現状 公害事案の知覚については、市民からの通報の他、河川管理者や事業者からの報告もある。例えば水質汚濁に関する窓口は下水道課や環境政策課、市の代表電話などに連絡が入り、関係部署で情報の共有を行っている。窓口が複数あることで、市民がどこに連絡すれば良いか不明瞭であることは課題。通報後の対応としては、現場での原因究明や拡大防止をしつつ、原因に対して指導を行う。原因不明の場合は、キットによる簡易検査や、専門業者への精密検査依頼も行っている。</p> <p>イ 地域への情報共有の現状と課題 農業用水や水利関係があれば地域と連絡をとる場合が多いが、それ以外の場合、情報が確定するまで共有は躊躇われるケースが多い。不確定な情報を地域に流さないためではあるが、市民の安心のためにも連絡体制を確立させ、地域へも情報を迅速に知らせることが課題である。</p> <p>ウ 課題解決に向けて 原因の判定に時間を要する場合は中間報告をしたり、何が起きて、今後の処理をどうするかなどの情報を地域と共有することは必要である。今回の事案では、地域に馴染みのある場所での異常であったため、不安を抱える住民もいた。今後、御所川で水質事故が発生した場合は必ず情報を共有する方向で検討する。</p> <p>エ 今後について 緊急時の情報共有については、環境政策課に限らず市全体の問題として受け止めてほしい。本件の対話については終了とし、市全体の危機管理に関して新たな推進シートの提出を検討する。</p>